



ハマタイトの接着性（プライマー選定表）

シーリング材が中長期にわたって、被着体と良好な接着性を確保する為には、プライマーの適切な選定、使用が必要です。主な被着体とシーリング材／プライマーの組合せは次の通りです。但し、ここでの表示は、被着体とシーリング材／プライマーの接着性を示すもので、シーリング材の材質選定の目安を示すものではありません。材質の選定にあたっては《ハマタイトの適材適所》の欄を参照ください。シーリング材の接着性を確保する為、被着面の清掃を確実に行ってください。また、プライマー乾燥時間の規定を守ってください。尚、清掃溶剤及びプライマー塗布により被着面に不具合（塗膜の溶解・膨潤等）が生じないことを予めご確認のうえ、ご使用願います。

下 地	適用被着体		シリコン系		シリル化アクリレート系	変成シリコン系				ポリサルファイド系			ポリウレタン系			備 考	
			2成分形	1成分形	2成分形	2成分形	1成分形	1成分形		2成分形		1成分形	2成分形	1成分形	1成分形		
			<i>sc-SR 2</i>	<i>sc-SR1 Plus</i>	<i>sc-SA2 /EVOMAX</i>	<i>sc-MS 2NB /SUPER II</i>	<i>sc-MS 1-HM</i>	<i>sc-MS 1NB-LM</i>		<i>sc-PS 2</i>	<i>sc-DM 2</i>	<i>sc-PS 1NB</i>	<i>sc-PU 2NB</i>	<i>sc-PU1</i>	<i>sc-PU1NB</i>		
アルミニウム	アルマイト（電解着色を含む）		No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	封孔処理の微妙な違いにより接着性が異なるため、事前確認、バフ掛けを推奨します。	
	アルマイト＋塗装（複合被膜）		No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	素地（切断面等の生アルミ）の場合は、接着不良が生じ易いので事前検討が必要です。 フッ素樹脂系塗装は難接着であることが多いため、事前の接着性確認を推奨しますが、事前の接着性が確認できない場合は、ナイロン研磨布を用いてバフ掛けをしてください。	
	化成皮膜＋エナメル塗装	ウレタン系	No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40		
		アクリル系	No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40		
フッ素系		No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40			
スチール	塗 装	錆止塗料	ジンクリッチプライマー	No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	塗膜が弱い可能性があるので、事前確認を実施してください。
		常温乾燥型	アクリル系	No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	常温乾燥型塗装は、塗膜の乾燥・養生が不十分であると、溶剤により塗膜の溶解・膨潤が生じて接着不良を起こすことがあります。養生を十分とるとともに、塗布間隔を空けた2回塗りが有効な場合があります。
				プレバレン	No.70	—	—	No.18, No.40	—	—		No.40	—	—	—	—	
		常温反応型	アクリル系	No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	
			ウレタン系	No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	
			タールエポキシ系	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	
	被 覆	ホーロー銅板		No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	—	—	—	接着不良を生じ易いので、現物での事前確認を実施してください。
		塩ビ銅板		No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	—	—	—	
		澀青質銅板		—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	
	金属断熱サンドイッチパネル		—	—	—	No.18	—	—		—	—	—	—	—	—	フッ素系の場合は接着不良が生じ易いので、バフ掛けを推奨します。	
金属その他	ステンレス（ヘアーライン、鏡面仕上）		No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	—	—	—	表面が不活性のため接着不良を生じ易いのでバフ掛けを実施してください。	
	銅（素地、硫化処理）		No.70	No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	—	—	—	緑青などの脆弱層からの剥離、早期のひび割れや変色などの不具合が起きることがありますので、ご注意ください。SC-SR1 Plusは銅を腐食させることがありますので、事前確認を実施してください。	
	亜鉛メッキ銅板		No.70	No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40		
コンクリート 石 ガラス	コンクリート		No.3-R	No.40	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	No.40	No.40	No.30	No.40	No.40	多孔質部材は、プライマーの塗りかすが発生しないよう、十分にプライマーを塗布してください。	
	モルタル		No.3-R	No.40	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	No.40	No.40	No.30	No.40	No.40		
	スレート類		No.3-R	No.40	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	No.40	No.40	No.30	No.40	No.40		
	花崗岩（御影石）		No.3-R	No.40	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40	—	No.40	No.40	No.40	—	—	—	石材は種類や産地により染み出し汚染を起こす場合がありますので、事前の確認をお願いします。	
	大理石		—	—	No.65	—	—	—	No.40	No.40	No.40	—	—	—			
	ALC板		—	—	No.65	No.18, No.40	—	No.18, No.40	—	—	—	No.30	No.40	No.40			
	タイル		No.3-R, No.70	No.40	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	No.40	No.40	—	—	—	タイルはうわぐすりの種類等で接着性のバラツキが生じ易いので、現物での事前確認を実施してください。うわぐすりがない場合No.70は使用できません。	
	フロートガラス		No.70	No.70	No.65	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	熱線吸収ガラス		No.70	No.70	No.65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	強化ガラス		No.70	No.70	No.65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	熱線反射ガラス		No.70	No.70	No.65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他	結晶化ガラス		No.70	No.70	No.65	*No.18, No.40	—	—		*No.40	—	—	—	—	—	*外壁で使用する場合は耐光接着性が必要なため、使用できません。	
	ポリカーボネート・アクリル板		—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	ハマタイトブランドの製品において推奨しうるシーリング材はありません。	
	成型ゴム類		No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	ゴムの種類や配合剤の影響により、軟化・変色や接着不良が生じる場合があります。現物での事前確認を実施してください。	
	木 材		No.3-R	No.40	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	木材の種類や表面処理により接着性が異なるため、事前確認を推奨します。	
	FRP		No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	プラスチックの種類や離型剤により接着性が異なるため、事前確認を推奨します。	
	硬質塩化ビニル樹脂		No.3-R, No.70	No.40, No.70	No.65	No.18, No.40	No.18, No.40	No.18, No.40		No.40	※	No.40	No.30	No.40	No.40	水道管等内圧がかかる場合は亀裂が生じる恐れがあります。	
油性コーキング打替え		—	—	—	No.79＋No.18 No.79＋No.40	—	—		No.79＋No.40	—	—	No.79	—	—	マスチックタイプ「SC-SR2＋添加剤79」を推奨します。		

「SC-SR2＋添加剤79」「プライマーNo.79」については、別カタログをご参照ください。

※ノンワーキングジョイントで使用する場合に限り、プライマーNo.40をご使用いただけます。
接着性は全ての被着体に対し、使用する現物を用いた事前確認が好ましいですが、特に備考欄に「事前確認を推奨」と記載している被着体はバラツキが生じやすい被着体です。